

神戸医療センター 病診連携だより

編集・発行：独立行政法人国立病院機構 神戸医療センター
〒654-0155 兵庫県神戸市須磨区西落合3丁目1-1 TEL 078-791-0111

第14回 病診連携懇談会を開催しました



地域医療連携室長 三輪陽一

毎年恒例の病診連携懇談会が、今年も7月13日に開催されました。平成16年の第1回目から数えて、今回で第14回目となりました。

「顔の見える病診連携」を合言葉に、地域医師会等を代表される先生方と、当センターの主だった職員とが一堂に会し、直接顔を合わし意見交換をするという、年に1回の大切な会議となっております。

須磨区医師会会長：松井 誠一郎先生、垂水区医師会会長：江草 康夫先生、西区医師会会長：荒木 邦公先生、須磨区歯科医師会会長：定政 規夫先生、神戸市薬剤師会会長：伊藤 清彦先生を始め、各医師会の役員の方や会員の先生方30名という例年になく多数のご出席をいただきました。当センターからは、森田院長、宇野副院長、岩崎統括診療部長、齋藤事務部長、高田看護部長、関本薬剤部長を始め、各診療科の長が出席し、日頃の感謝を申し上げるとともに改めて自己紹介をさせていただきました。

引き続き、森田院長から、SWOT分析を用いて当センターの強み・弱みを挙げながら、建て替えの構想も含めた将来設計について説明がなされました。

続いて、私から、平成28年度の当院における病診連携の現況と病診連携満足度調査の結果を報告し、診療機能の充実と地域連携の強化についてそれぞれの直近の取り組みをご紹介いたしました。

その後の意見交換会では、当センターに対するご要望やご意見を多数いただき、総じて充実した内容となりました。当センターの今後の診療および病診連携に活かしていきたいと考えております。

今後においても、地域の先生方に支えていただきながら、お互いの「顔の見える病診連携」により、さらに地域に開かれた病院を目指していきたいと考えております。



急性期病院における認知症の人の医療



認知症ケアチームリーダー 総合内科部長 清水 一也

「わが国の65歳以上の認知症の人が462万人」と発表されています。予想以上の数の人が認知症を抱え、加えて、さらに400万人が認知症予備軍である軽度認知障害をもっていることが判っています。このニュースが発表されてすでに5年がたちます。今

後も、さらに超高齢化社会の進行に伴い、さらに加速される可能性は否定出来ません。

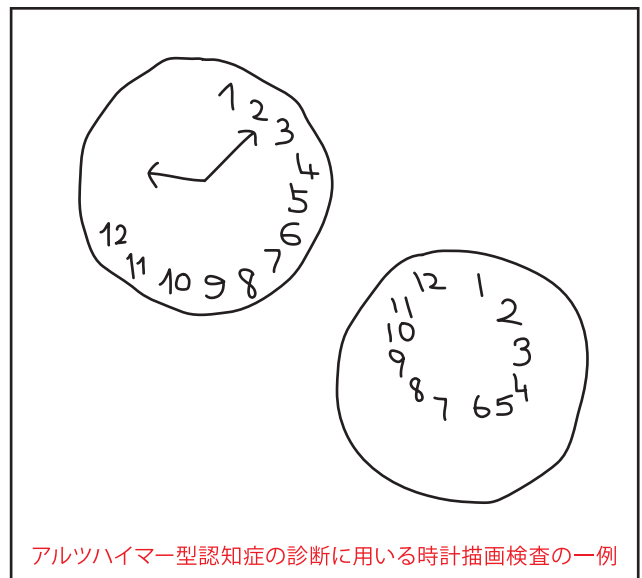
また神戸医療センターにおいても、入院患者の高齢化が進んでおり、認知症の人が入院する機会も増えていきます。同じ程度の疾患でも、その人が認知症を合併するかしらないかで、医師や看護師の負担も大きく違ってきます。この状況に対応するため、当院でも医師、MSW、老人看護専門看護師等を中心とした「認知症ケアチーム」が今年の4月から結成されました。

「認知症ケアチーム」の活動内容ですが、患者さんの行動は何が原因で起こっているのか、身体・心理・環境面と多角的に要因を探り、その行動の意味について考え関わり方及び意思決定や身体拘束、虐待などの倫理的な問題などについて、相談依頼のあった患者さんを週1回ラウンドし、各病棟スタッフとともにカンファレンスを行い、対応方法を検討しケアの助言を行っております。

また当院では、認知症の患者さんを受け入れるにあたって、下記のことに関心を持っています。まず、現状の評価をすること。これまでどのような医療、ケア等を受けていたかをスタッフが情報収集し問題点を共有し、病院の資源、院外の連携資源をいかに活用することが出来るか評価すること。定期的に全職種を対象とした研修を行うこと。自宅にいるような環境作りに関心すること。必要な医療行為や手術・処置を行える環境を作るため、院内のコンサルテーションを活用すること。行動・心理症状 (BPSD) やコミュニケーションの困難さを理由に、認知症の患者さんとその家族を差別しないこと等患者さんのそれぞれの問題に応じ、主治医及び病棟スタッフと協力しながら入院生活の支援を行えるように評価し治療計画を立てています。

また、病院と地域との連携が重要な役割を担っています。認知症の患者さんに身体合併症が生じた場合、家族や介護者が気付き、家族や介護者はかかりつけ医、在宅系サービス機関に相談いたします。手術など急性期病院での加療が必要な場合には、紹介や逆紹介システムを利用し、認知症の患者さんの入院をスムーズに行い、認知症ケアチームの活動により、出来るだけ早期に退院でき、もとの生活の場所に戻れるように配慮しています。

今後当院では、「認知症ケアサポートセンター」の開設を検討しており、地域包括ケアシステムの連携に益々貢献出来るよう日々努力しております。「認知症ケアサポートセンター」の目標といたしましては、認知症の疑いあるいは認知症の患者さんを当院のサポート医、精神科医及び神経内科医師が診察を行い、必要に応じて採血、MRI、脳血流シンチ、ダットスキャン検査、MIBGシンチ等を行って診断を行います。その診断に基づいて治療方針を決め、当院よりかかりつけ医の先生方に、今後の治療計画の助言を行う予定にしております。



アルツハイマー型認知症の診断に用いる時計描画検査の一例

ツレ一記事

当院の専門・認定・専従 / 専任看護師



がん看護専門看護師 細見裕久子（副看護師長）

当院は兵庫県指定がん診療連携拠点病院として地域の皆さまのご協力のもとがん医療の推進に邁進しております。私は当院に平成24年にがん看護専門看護師として就職、がん看護の質の向上に努めてまいりました。平成29年4月より放射線治療室で勤務しています。

当院での放射線療法の取り組みについてご紹介します。

放射線療法は手術療法・化学療法と並んでがんの3大治療の一つであり、治療機器の発展等も加わりその適応範囲はどんどん広がっています。当院では、他施設からも受診していただき、乳がん・肺がん・子宮がん・直腸がん、骨転移や脳転移、疼痛緩和や出血防止の放射線治療を多く行っています。

放射線療法を受ける患者さんのサポートをする医療者の役割は「治療を完遂すること！」この一点につきます。約2か月の間、毎日治療を受ける患者さんには有害事象だけでなく様々な困難なことが起こります。当院では、医師・看護師・診療放射線技師がそれぞれの立場で丁寧に対応し、治療完遂できるように努めています。患者さん一人ひとりの放射線治療や病気に対する思いを傾聴しながら、身体状況だけでなく心理状況も合わせて診療放射線技師や医師と共有し、それぞれの患者さんに合わせた配慮ができるよう、直接ケアだけでなくそれぞれの職種をつなぐことが看護師の最も重要な役割です。

様々な困難の一例

有害事象

下痢が止まらない

水が飲めない
ほど痛い

治療中

痛い！

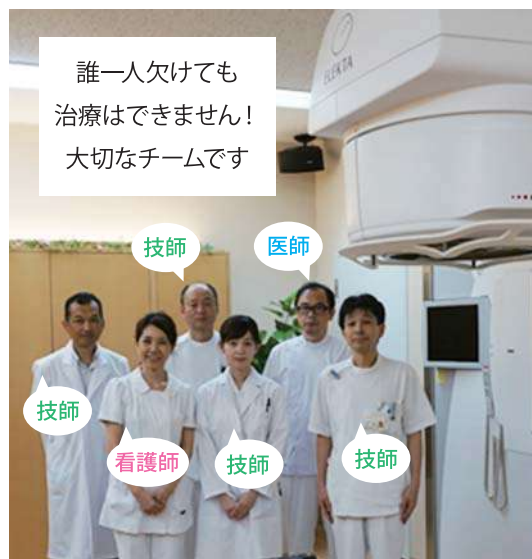
治療をやめたい

気持ちのつらさ

手術後の傷をはじめてみます

この治療が最後の希望なんです！

治療を終えられた患者さんからは『皆さんの笑顔と優しさで治療を続けられました』という声をいただいています。



当院では地域の方々にも受診していただけるよう柔軟に対応するよう努力しております。

例えば、在宅療養の継続を強く希望されている骨転移の激しい痛みを抱えた患者さんには、1度の受診で、1回の放射線治療で終わるよう調整し、無事治療を受けていただけたこともありました。また、当院が主たる病院でない方にも、毎日通院しやすいという利便性から放射線治療だけ当院を受診される方もおられます。

放射線治療室では責任と自信をもって患者さんを全力でサポートいたします。まずは、地域医療連携室へご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

最近の取り組み ★NPO法人 つなぐサポート神戸★

放射線療法を受けた後の患者さんサポートの仕組みづくりを神戸市内8施設協同ではじめています。乳がん・骨転移・頭頸部がんの患者さんの放射線療法後の生活に焦点を当てた手帳を作成し活用しています。





外来診療担当医表

診療受付時間 8:30~11:00

(平成29年7月1日現在)

		月	火	水	木	金	備 考
内 科	初診(総合内科)	清水 一也	吉田 志栄	三輪 陽一 三好 園子	宮崎 博之	清水 雅俊	患者さんからの直接予約は受け付けておりません 紹介状をお持ちでない初診患者さんは、内科初診(総合内科)での診察になります
	再 診	衣笠 允雄 長谷川 章	櫻尾 和洋 谷岡 洋明	中山 文仁 清水 雅俊	高峰 佐智子 三田 正樹	徳永 英里 岡田 武哲	
	予約診(午前)			三輪 陽一 清水 一也			
消 化 器 内 科		清水 一也 三田 正樹 中山 文仁 長谷川 章	吉田 志栄 谷岡 洋明 宮崎 博之 酒井 太門	中山 文仁 清水 一也	宮崎 博之 三田 正樹	徳永 英里 吉田 志栄 宮崎 博之 長谷川 章	
	午後診	徳永 英里 朝治 直紀					
循 環 器 内 科		衣笠 允雄 鈴木 麻希子	櫻尾 和洋 三輪 陽一	三輪 陽一 清水 雅俊 岡田 武哲 第1,3,5週 山内 由貴	高峰 佐智子 衣笠 允雄 三輪 陽一 伊藤 泰子	清水 雅俊 岡田 武哲 第1,3,5週 高峰 佐智子 第2,4週 櫻尾 和洋	
	午後診						
呼 吸 器 内 科	担当医 (初診・予約のみ)	永礼 智基	土屋 貴昭	日下部 祥人	土屋 貴昭	担当医 (再診・予約のみ)	
糖 尿 病 内 科		永礼 智基	永礼 智基		永礼 智基		
腫 瘍・血 液 内 科					船越 洋平		腫瘍・血液内科の診察は完全予約制です
感 染 症 内 科							
神 経 内 科		橋本 由貴		上中 健			神経内科は午後診(予約制)
心療内科・精神科		休診	休診	竹内 克史	蓬萊 政	休診	予約制(継続の方のみ)
心理判定カウンセリング					杉山 直緒子		
緩和ケア内科		山川 宣	山川 宣	山川 宣	山川 宣	山川 宣	完全予約制(通院中の方のみ)
小 児 科	午 前 診	小林 明子 本山 史子	小林 明子 山根 めくみ	小林 明子 本山 史子	担当医	小林 明子 山根 めくみ	専門外来は午後から診察(予約制) 二診での診察時間は10~11時までです
	午 後 診 (予約制)	心工コー	慢性疾患 小林 予防接種	乳児健診	腎臓 小林		
消 化 器 外 科	一 診	辻村 敬明	岩崎 武	岩崎 武	前川 陽子	辻村 敬明	
	二 診		平田 建郎	石田 潤	秋山 真吾		
	三 診		田上 修司				
	四 診			小倉 佑太			
乳 腺 外 科		前川 陽子 (予約・再診のみ)		前川 陽子	前川 陽子		月曜日は予約なしの初診患者さんは診察していません(6ヶ月以上受診されていない方も含む)
整 形 外 科	一診(初診)	川北 晃平	乾 義弘	蔵川 拓外	堂垣 佳宏	鈴木 哲平	側弯症外来、骨粗しょう症外来の担当医は当日決定します 手術のため、担当医を変更することがあります 水曜日は初診と予約(背椎側弯センター)のみ受付です 側弯症外来は午後4時からとなります(予約制)
	二診(再診)	鈴木 哲平	川北 晃平		乾 義弘	堂垣 佳宏	
	三診(再診)	蔵川 拓外	骨粗しょう症外来 (14:00~15:00)				
背 椎 側 弯 センター (2F)	午前	宇野 耕吉		宇野 耕吉	宇野 耕吉	宇野 耕吉	
	午後 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	担当医 (16:00~17:00)	
形 成 外 科		休診(手術日)	輪湖 雅彦	輪湖 雅彦(予約のみ)	休診	輪湖 雅彦	午前中のみ
脳 神 経 外 科		高本 剛	休診(手術日)	高本 剛(初診のみ)	高本 剛	高本 剛	水曜日は初診のみ
呼 吸 器 外 科		第2,4週 田中 雄梧	休診	休診	休診	法華 大助	午後診のみ(予約制)
皮 膚 科	午前診	山本 篤志	寒川 愛美	山本 篤志		山本 篤志	アレルギー外来、漢方外来は予約制となり、患者さんからの直接予約は受け付けておりません
	午後診	寒川 愛美 アレルギー外来	担当医	担当医	休診(手術日)	寒川 愛美 漢方外来	
泌 尿 器 科		大岡 均至 (初診は紹介状必要) (受付10時半まで)	予約患者のみ 特殊検査処置	大岡 均至 (初診は紹介状必要)	予約患者のみ 手術日	大岡 均至 (初診は紹介状必要) (受付10時半まで)	初診患者さん(1年以上来院のない方含む)は紹介状が必要です 月曜日、金曜日の受付時間は10時半までです 火曜日、木曜日は予約患者さん以外の方の診察はできません 担当医が変更になることがあります 出張等により休診になることがあります
産 科・婦 人 科	診察室1	武内 享介 (予約)	武田 晃子 (初診・予約)	杉本 誠 (初診・再診)	武内 享介 (初診・再診)	担当医 (初診・再診)	火曜日、金曜日の受付時間は10時半までです 神戸市子宮癌検診は神戸市在住20歳以上、の方で、平成28年4月1日~平成29年3月31日の期間に偶数年齢になる方が対象です
	診察室2	吉田 愛 (初診・再診)	武田 晃子 (再診)	武田 晃子 (予約)	杉本 誠 (予約)	吉田 愛 (予約)	
	産褥健診			吉田 愛 (予約)	武田 晃子 (予約)		
眼 科		藤岡 久美子	休診(手術日) 視野検査	藤岡 久美子 中村 礼恵	中村 礼恵	藤岡 久美子 中村 礼恵	
耳 鼻 咽 科	午前診	黒田 浩之 (予約のみ)	黒田 浩之 (予約・初診のみ) (受付10時半まで)	休診(手術日)	黒田 浩之 (予約・初診のみ) (受付10時半まで)	黒田 浩之 (予約のみ)	耳鼻咽喉科の診察については、「初診の方」又は、「ご予約の方」のみの診察となります 火曜日、木曜日の受付時間は10時半までです 第2,4週の火曜日はチーム回診により、診察を一時中断するため、待ち時間が多くなる場合があります
	午後診	特殊検査	特殊検査			特殊検査	
放 射 線 科	放射線治療			西川 遼		佐々木 良平	診察は完全予約制 治療の依頼は毎日受付
	IVR	谷 龍一郎				片山 亘人	
	CT・MR I 診断	森田 瑞穂 本山 新	本山 新	本山 新	森田 瑞穂 本山 新	本山 新	月~金曜日 随時受付
リハビリテーション科						川北 晃平	



独立行政法人 国立病院機構

神戸医療センター 地域医療連携室

〒654-0155 神戸市須磨区西落合3-1-1

TEL : 078-795-6584 (直通) FAX : 078-795-6591

http://www.kobemc.go.jp

- 神戸市営地下鉄名谷駅から徒歩15分
- 神戸市営バス「神戸医療センター前」すぐ
- 山陽バス「神戸医療センター下」徒歩3分

開室時間 月~金曜日 午前8時30分~午後7時00分(祝日・年末年始を除く)

